

授業科目 地域福祉論 II

【担当教員名】 豊田 保		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎		○	
【概要・一般目標：G10】 地域福祉実践の内容、方法、評価について理解する。 海外の動向について理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 ソーシャル・サポート・ネットワークについて理解する。 社会資源の活用と内容について理解する。 ニーズ把握の方法について理解する。 地域トータルケアシステムについて理解する。 福祉サービスの評価方法について理解する。 海外の動向について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソーシャル・サポート・ネットワーク				講義による学習（以下、同じ）
2	コミュニティ・ワークとソーシャル・サポート				
3	社会資源の概要				
4	福祉サービスの開発				
5	質的な福祉ニーズの把握方法				
6	量的な福祉ニーズの把握方法				
7	地域トータルケアシステムの必要性				
8	地域トータルケアシステムの展開方法				
9	地域福祉における利用者の保護				
10	評価の考え方				
11	福祉サービス評価の方法				
12	福祉サービスのプログラム評価				
13	イギリスの地域福祉				
14	アメリカの地域福祉				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座9 地域福祉 の理論と方法	市川一宏、上野谷加代子、 大橋謙作	中央法規出版	2012・2,600円+税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験またはレポートによる			【履修上の留意点】 教科書を個々に読了すること		